

## アートカフェ

東海大学では、キャンパスがある南沢地区をはじめ、石山区や定山溪地区など多くの地域で、積極的にまちづくりに活動に参加しています。今年2月には「地産地消」をコンセプトに同大学の学生が運営するカフェ「旧道茶屋」を開店し、地域交流の拠点となつていきます。さらに、今年の春と夏の2回、旧道茶屋の「出張カフェ」を定山溪源泉公園で開催し、地域のにぎわいに一役買っています。

今回は、定山溪物産館2階を会場に「アートカフェ」を開設。自分たちで撮影した季節ごとの風景写真を展示し、イスやテーブル、オブジェの配置や照明の角度などを古川さんと相談しながら、連日遅くまでセッティングに汗を

節ごとの風景写真を展示し、イスやテーブル、オブジェの配置や照明の角度などを古川さんと相談しながら、連日遅くまでセッティングに汗を



▲カフェの運営なら、私たちに任せください！

流しました。カフェでは、飲み物のほか、古川さんが考案した「オリジナルスィーツ」の試作品販売を行い、定山溪温泉の新作物に向けた情報発信役を担いました。レジャー片付けなども同大学の学生が中心となり、お客さんが一度に数十人の列をつくる場面でも、これまでの経験と若い力で無難に乗り切っていました。

▲外が暗くなっても、なんのその！

## まちづくりの新たな可能性

このイベントでは、大学生と定山溪の活性化を願う次代の担い手とのつながりが生まれました。大学生のアイデアや行動力と地域の思いが一致して新たな一歩を踏み出したことで、定山溪では、地域の若い力にますます期待が高まっています。

少子高齢化を迎え、地域の活力の低下が懸念される中、斬新なアイデアや実行力を持つ大学生がまちづくりに参加することは、新たな取り組みを可能にしたり、幅広い世代の人とのつながりを生み出すなど、これまで以上に地域を盛り上げていく可能性を持っているのではないのでしょうか。

## 定山溪温泉の次代の担い手

ふるかわ よしひろ  
古川 善浩さん  
(ぬくもりの宿ふる川)



かながわ ひろゆき  
金川 浩幸さん  
(ホテル鹿の湯)



定山溪アート縁日では、大学生の行動力に地域もたくさんの元気をもらった感じがします。また、今回のイベントは、地域を見つめ直すきっかけにもなり、同年代の担い手同志で、定山溪温泉の未来を考える動きも出始めてきました。今後も、大学生との連携を大切にしながら、新しいことにも挑戦していきたいと思っています。



▲アートカフェのレイアウト思案中！



札幌市立大学  
デザイン学部3年生  
工藤 哲人さん

芸術の森キャンパスから飛び出して地域の建物をデザインしたのは初めての経験でしたが、作業だけでなくイベントに携わる人との調整など、これまでよりも視野が広がった気がします。また、古川さんや金川さんとアイデアを出し合いながら、イベントを作り上げることもできました。今後も、自分たちの学んでいる空間デザインやアートの知識を生かして地域をサポートしていきたいです。



東海大学  
国際文化学部4年生  
吉田 祐生さん

定山溪温泉でカフェを開店するのは今回で3回目でしたが、これまで以上に古川さんや金川さんと連携し、初めて定山溪温泉のオリジナルスィーツの販売にも挑戦しました。今後は、札幌市立大学の学生との交流も進めながら、南区のまちづくりにかかわっていきたいです。私たち大学生の行動力やパワーが、地域の活性化につながり、大学の後輩もこうした動きに続いてくれることを期待しています。

